

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手リハビリテーション学院
設置者名	一般財団法人 岩手済生医会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科		113	12	
	作業療法学科		106	12	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスとともにホームページに掲載
<http://www.iwate-reha.jp/disclosure/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 該当学科なし

(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	岩手リハビリテーション学院
設置者名	一般財団法人 岩手済生医会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	岩手リハビリテーション学院 学校関係者評価委員会
役割	岩手リハビリテーション学院自己評価委員会が行った自己評価ならびに視察等の結果に基づき、適切な運営がなされているかを評価の上、改善が必要な事項については、改善に向けた助言を学院長に行う。学院長は、関係者並びに学校運営等の質の保証と向上について指揮する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
公益財団法人 職員	2022.6.1～2024.5.31 (2年間)	職能団体関係者
一般財団法人 職員	2022.6.1～2024.5.31 (2年間)	職能団体関係者
株式会社 役員	2022.6.1～2024.5.31 (2年間)	卒業生 関連業界
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手リハビリテーション学院
設置者名	一般財団法人 岩手済生医会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育課程を体系的に編成し授業を展開できるように、授業計画書(シラバス)を統一書式にて作成している。</p> <p>記載内容として、授業概要、学修到達目標、授業計画、成績評価方法および教員の実務経験、履修上の留意点等がまとめられている。この授業計画書の作成は、各教員へ依頼し、毎年2月末に取りまとめている。提出された授業計画書は学内の職員会議にて内容を確認し、学院長の承認後、学生便覧にシラバスとして掲載し、年度初めに合わせ学生・教職員全員への配布又はホームページでの公表を実施している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページ</p> <p>http://www.iwate-reha.jp/disclosure/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価として、科目試験および特別試験(追試験、再試験)等を実施している。詳細の学修評価方法(筆記、実技、口頭、課題等)に関しては各科目の担当教員が授業計画書の中で示している。学修評価結果は学則並びに履修方法及び学修評価に関する規程に則り職員会議において厳格かつ適正に審議され単位を授与している。また、この結果に関しては電磁的記録にて厳重に保護している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目担当教員は授業計画書に定めた学修評価方法に則り100点満点で評価する。これらの学修評価は一覧表として職員会議に提出され、審議された上で認定し、学則並びに履修方法及び学修評価に関する規程に基づく、S(90点以上100点)・A(80点以上90点未満)・B(70点以上80点未満)・C(60点以上70点未満)・D(60点未満)に分類する。学修評価一覧には各科目学修評価の平均値が示され、各学生の順位並びに成績の分布を把握することが可能である。なお、順位の算出には小数二桁以下を切り捨て、同点数の学生が発生した際には同順位とし、次順位を欠番として設定する。また、学修評価の内容や詳細は「学則」及び「履修方法及び学修評価に関する規程」に明記され、学生便覧に掲載されるとともに本校ホームページにて公表する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>学生便覧及び本校ホームページ</p> <p>http://www.iwate-reha.jp/disclosure/index.html</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。
 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針は学科毎にディプロマ・ポリシーを定め、本校ホームページにて公表するとともに説明等により学生への周知徹底に努めている。卒業の決定については各学修評価の結果並びに学則に則り、職員会議にて卒業要件や取得単位の確認等厳密な審査を行っている。その方法については学生便覧に記載の上、当該学生への周知徹底を図っている。

岩手リハビリテーション学院の教育理念のもと、チーム連携の中で理学・作業療法士としての役割と責任を理解し、その環境に応じた対応と対象者の多様なニーズに応えるためにより高い専門技能を提供できる人材に成長することを目的とした教育を行う。各学科が掲げた目標に従い、学則で定められた教育課程全てを履修し単位を修得した者に卒業を認める。

【理学療法学科ディプロマ・ポリシー】

卒業に際し、下記の資質を有することとする。

《求められる力》

- ①他者を尊重し、礼節を持って良好な人間関係を築く力
- ②社会の環境変化に適応し、行動する力
- ③成長欲求を持ち、学習し行動変容する力
- ④人々の健康と生活を支援するために必要な理学療法を実践する力
- ⑤目的達成のため、他者と協働しチーム連携を図る力

【作業療法学科ディプロマ・ポリシー】

1. 作業療法の専門性を発揮し実践するために必要な基本的知識と基本的技能を修得する。

- ①人間の構造や動作のメカニズム、疾病と障害像などを理解できる
- ②作業の多様性を認識し、作業療法理論を活用することができる
- ③相手の取り巻く環境を理解することができる
- ④多角的視点で事象をとらえることができる
- ⑤臨床コミュニケーション技能を身につけている
- ⑥基本的評価・治療技術を身に付けている
- ⑦科学的根拠に基づいた作業療法を実践する力を身につけている

2. 地域社会や医療・保健・福祉の分野で協業するために必要な分野の理解と社会的倫理観、礼節を身に付ける。

- ①チーム医療の一員として多職種の担う役割を理解できる
- ②各分野でのニーズに対応するため、情報収集・整理できる
- ③作業療法士としての役割の理解と責任の自覚ができています
- ④時代や社会の流れに対する洞察力を身につけている
- ⑤社会人としての教養と礼儀を基礎とし、自己の役割と責任を担うことができる

3. 他者を理解し信頼される人間性を形成するために振り返りと研鑽ができる

- ①多様な価値観を受け入れ理解することができる
- ②自己成長のための振り返りができる
- ③自己や他者の理解に向けた主体的な取り組みができる
- ④誠意と熱意をもって相手とかかわることができる

卒業の認定に関する
 方針の公表方法

本校ホームページ
<http://www.iwate-reha.jp/disclosure/index.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手リハビリテーション学院
設置者名	一般財団法人 岩手済生医会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ http://www.iwate-ha.jp/disclosure/index.html
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ http://www.iwate-ha.jp/disclosure/index.html
事業報告書	本校ホームページ http://www.iwate-ha.jp/disclosure/index.html
監事による監査報告（書）	本校ホームページ http://www.iwate-ha.jp/disclosure/index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【理学療法学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	—	○（申請中）		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	140単位	83単位	26単位	31単位	0単位	0単位
			140単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		152人	0人	5人	49人	54人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>ディプロマ・ポリシーに掲げた目標を達成するために、教育課程を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業をシラバスに沿って展開している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>シラバスに、授業科目毎に学修成果を評価するための基準を明示している。試験は筆記試験、レポート、実技試験、成果物の提出等、担当教員が認めた方法により行う。評価は、S（90点以上100点）・A（80点以上90点未満）・B（70点以上80点未満）・C（60点以上70点未満）・D（60点未満）とし、C以上のものを合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>進級：各学年に定められる授業科目を履修し、進級に必要な単位を修得した者に対し、職員会議を経て学院長が認定する。</p> <p>卒業：本学院で定められた課程を修了し、全科目の単位を修得した者に対し、職員会議を経て、学院長が認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>本学科教員による面談や学修相談といった個別対応のほか、特別セミナーの実施、グループワークなどにより学生の自発的学修を推進している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (0%)	36人 (87.8%)	5人 (12.2%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>病院、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設</p>			

(就職指導内容) 就職ガイダンス、就職説明会の実施および教員による進路相談
(主な学修成果(資格・検定等)) 資格 理学療法士国家試験受験資格 成果 前々年度国家試験合格率 88.1% (全国平均 79.6%)
(備考) (任意記載事項) 令和4年度は、4年制課程へ移行中につき卒業生がいなかったため、卒業者数等は前々年度の人数を記載した。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116人	6人	5.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員による個人面談、保護者を含めた三者面談 教員間連携による成績不振者への個別指導		

【作業療法学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法学科	—	○（申請中）		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	128単位	98単位	2単位	28単位	0単位	0単位
			128単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		116人	0人	7人	43人	50人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ディプロマ・ポリシーに掲げた目標を達成するために、教育課程を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業をシラバスに沿って展開している。
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスにおいて、授業科目ごとに学修成果を評価するための基準を明示している。成績は、筆記試験、レポート、実技試験、成果物の提出等、担当教員が認めた方法により行う。評価は、S（90点以上100点）・A（80点以上90点未満）・B（70点以上80点未満）・C（60点以上70点未満）・D（60点未満）とし、C以上のものを合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：各学年に定められる授業科目を履修し、進級に必要な単位を修得した者に対し、職員会議を経て学院長が認定する。 卒業：本学院で定められた課程を修了し、全科目の単位を修得した者に対し、職員会議を経て、学院長が認定する。
学修支援等
（概要） 本学科教員による面談や学修相談といった個別対応のほか、口頭試問・グループワークなどにより、学生の自発的学修を推進している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	2人 (50%)	2人 (50%)
（主な就職、業界等） 病院、大学病院、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設 等			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職説明会の実施および教員による進路相談			

(備考) (任意記載事項)
令和4年度は4年制課程へ移行中のため、本来であれば卒業生のいない年度であったが、旧カリキュラムの留年生4名が卒業した。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94人	4人	4.2%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員による個人面談、保護者を含めた三者面談 教員間連携による成績不振者への個別指導		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300,000 円	780,000 円	520,000 円	実習費・施設整備費・ 管理維持費
作業療法学科	300,000 円	780,000 円	520,000 円	実習費・施設整備費・ 管理維持費
修学支援 (任意記載事項)				
法人独自の奨学金制度 (三田医学奨励会奨学金および入学時奨学金制度) 特待生制度 (授業料年額の半額および2ヵ月減免)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) (本校ホームページ http://www.iwate-ha.jp/disclosure/index.html)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」(文科省:平成25年3月)に則り実施している。主な評価項目は、教育理念、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、財務、社会貢献等である。委員については関係業界や職能団体関係者、卒業生などに3名から5名の範囲で委嘱している。年1回の開催を行ない、学校運営、教育活動の現状における課題について意見、要望を受け、職員会議で検討し継続的な改善を図りつつ教育水準の向上や特色ある学校づくりを行っていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
いわてリハビリテーションセンター	2022.6.1～2024.5.31 (2年間)	職能団体関係者
東八幡平病院	2022.6.1～2024.5.31 (2年間)	職能団体関係者
デイサービス シャンジェ	2022.6.1～2024.5.31 (2年間)	卒業生 関連業界
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページ http://www.iwate-ha.jp/disclosure/index.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
評価団体	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構	
審査結果	適	
有効期間	2019年4月1日～2024年3月31日	
優れた点	理学療法学科 自己学習ノートを作成し、卒業までの学習課題で融合させる取り組みを実践している。 作業療法学科 個別面談や口頭試問等を通してきめ細かな学生指導を行っている。	

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページ http://www.iwate-reha.jp 学院案内 (請求により郵送)	
--	--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間		人
----	--	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。